

大切な蒸気設備を、 安全・安心にお使いいただくために…

弁や伸縮管継手は、裏方として産業の発展を支えてきた資材で、いわば影の”産業の米”といっても過言ではないでしょう。弁や伸縮管継手の選定・設置に当っては、流体の種類、使用条件、用途等で予め十分な検討をしなければなりません。流体の中で一般的な蒸気や水であっても、一歩使用方法が不適切であると、重大なトラブルを招くことがあります。

例えば減圧弁、温度調整弁、電磁弁、ストレーナなどの弁箱に鋳造が容易でコストが安いねずみ鋳鉄(FC)を使用した場合、十分なウォータハンマやスチームハンマ対策をとっていないと弁箱を破損させることがあります。

備考：弁箱がFC製であっても、ウォータハンマやスチームハンマが起らない適切な配管であれば、弁箱が破損することはなく、事実ほとんどの場合問題なく使用されています。

また、伸縮管継手は適切な固定点を施工しないとやはりウォータハンマやスチームハンマによって固定点が破損し、伸縮管継手も壊れるということがあります。

次の二つのトラブルは、蒸気配管に使用した減圧弁(弁箱：FC)と伸縮管継手が実際に破損した事例です。

トラブル例1：鋳鉄製弁の破損 トラブル例2：伸縮管継手の破損

このようなトラブルが発生すると重大な人身事故の恐れがあり、また緊急の操業停止を余儀なくされ、安全・安心が脅かされます。今ある設備を点検し、危険があると判断された場合、すみやかに対策をとることをお勧め致します。